

## 新潟県がん診療連携協議会

## 令和3年度 第1回 情報連携部会

## 次 第

## 1. あいさつ

県立がんセンター新潟病院 副院長 竹之内 辰也

## 2. 協議

## (1) がん地域連携パスについて

資料2

ア) 各施設のがん連携パスの利用状況について

イ) 今後の課題等について

## (2) がん相談支援センターについて

資料3

ア) 活動報告

イ) 就労支援に関する取り組みの報告

## (3) PDCAサイクル実施状況の評価について

資料4

## (4) セカンドオピニオン一覧表について

資料5

## (5) 質問事項等について

資料6

## 3. 「がんサポートハンドブック」の改定について

新潟県福祉保健部地域医療政策課 医師 羽入 晋太郎 氏

## 4. 第16回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告

## 5. 地域相談支援フォーラムについて

資料7

## 令和3年度第1回情報連携部会 出席者名簿

施設名	所属	職名	氏名	備考
新潟県福祉保健部	地域医療政策課	医師	羽入 晋太郎	
ほその循環器科・内科クリニック	新潟市医師会	理事	細野 浩之	
高野医院	長岡市医師会		高野 勝	
県立がんセンター 新潟病院	患者サポートセンター／皮膚科	患者サポートセンター長／副院長	竹之内 辰也	部会長
	患者サポートセンター	患者サポートセンター副センター長／看護師長	櫻井 圭美	
	患者サポートセンター	副参事(医療ソーシャルワーカー)	神保 圭子	
	患者サポートセンター	主査(医療ソーシャルワーカー)	齋藤 陽子	部会事務局
	患者サポートセンター	副看護師長	吉田 志穂	
	庶務課	副参事	天利 啓嘉	部会事務局
新潟大学医歯学総合病院	がん相談支援室	医療ソーシャルワーカー	石原 慎一	
新潟市民病院	腫瘍内科／がん診療支援室	部長／室長	伊藤 和彦	
	患者総合支援センター がん診療	医療福祉相談員	小林 朝美	
県立新発田病院	患者サポートセンター／医師	患者サポートセンター長／副院長	田中 典生	
	患者サポートセンター	看護師	山田 史子	
	患者サポートセンター	社会福祉士	高橋 里美	
長岡中央総合病院	消化器病センター／外科	外科部長	川原 聖佳子	
	がん相談支援センター	看護師長	遠藤 春美	
	がん相談支援センター	医療ソーシャルワーカー	村田 亜由美	
長岡赤十字病院	がん相談支援センター／呼吸器	がん相談支援センター長／呼吸器内科	石田 晃	
	がん相談支援センター	看護係長	橋本 幸子	
	がん相談支援センター	看護師長	白井 直美	
魚沼基幹病院	がん相談支援センター	がん相談支援センター長	大塚 佳子	
	がん相談支援センター	センター長代理	佐藤 芳伸	
	がん相談支援センター	看護係長	池田 幸恵	
	腫瘍センター事務局(経営企画課)	参事	深野 光一郎	
済生会新潟病院	がん相談支援室	医療ソーシャルワーカー	渋川 健史	
立川総合病院	化学療法室	看護師	高橋 郁代	
	医療相談室	医療ソーシャルワーカー	土田 一也	
	医療連携室	事務	佐藤 拓実	
柏崎総合医療センター	看護部(西4病棟)	病棟師長	横関 泰江	
	患者サポート室	医療ソーシャルワーカー	大倉 利江子	
上越総合病院	医療福祉相談室	医療ソーシャルワーカー	菅井 美穂	
西新潟中央病院	医療相談室	医療社会事業専門員	吉田 大輔	
佐渡総合病院	総合サポートセンターひまわり	医療ソーシャルワーカー	本間 裕久	

**新潟県がん診療連携協議会**  
**令和3年度 第1回 情報連携部会 議事録【要旨】**  
**(令和3年7月19日(月) 開催)**

**【協議(1)ア.各施設のがん地域連携パスの利用状況について】 資料 2-1**

＜利用実績＞

- ・胃がんの stage 1 : 済生会新潟病院にて継続的に利用いただいている。19 件。
- ・胃がんの stage2, 3 : 済生会新潟病院 3 件。
- ・胃がん ESD : 0 件。
- ・大腸がん : 長岡中央総合病院にて毎年利用いただいている。1 件。
- ・乳がん : 県内の拠点・準拠点病院にて 957 件(前年 : 823 件)。著しく増えているのは新潟大学病院、長岡赤十字病院、長岡中央総合病院。長岡中央総合病院はこれまで利用なかったが、昨年度から利用開始で 57 件。
- ・肺がん、肝がん : 0 件。

**【協議(1)イ.今後の課題等について】 資料 2-2**

＜各病院から挙げられた課題・意見＞

- ・新潟市民病院 : 乳がん以外のがんパスはほとんど稼働していないが、今後も稼働するか。
- ・新潟大学病院 : 今後も課題が共有できる場があるとありがたい。
- ・済生会新潟病院 : 記入に対して負担を感じている。  
→2 年前に乳がん以外のパスに関するアンケートを、各病院の該当診療科の医師を対象に実施。今後の利用拡大については否定的なコメントが多かった。しかし、修正するにはがん種ごとにワーキングチームを作り、一からパスを作り、周知していく作業が必要で、その業務量を考えると改めて作る必要はないと考えた。胃がん、大腸がんは、既に使用いただいている病院で引き続き利用して頂き、肺がん、肝がんは利用実績がないが仕方ないとする。これは国が診療報酬含めて制度的に手当てしているものなので、勝手にやめるとするのはなかなか難しい。今後もこのような形で情報収集をさせて頂きたい。
- ・県立中央病院 : 院外の医師に運用方法や利用のメリットなど定期的な広報が必要と考える。  
→とても大切なことと考える。制度として成熟させていくためには、連携先のすそ野を広げて必要がある。県の医師向けのソースを使って広報を続けていく。

**【協議(2)がん相談支援センターの活動報告・就労支援に関する取り組みの状況について】 資料3**

＜活動報告＞

- ・各病院から資料 3 をもとに報告。
- ・新潟大学病院では 6 月に「がんサロン」をオンラインで開催した。院内関係者含め 10 名の参加あり。患者の参加はなかった。各病院ではがんサロンの活動はほぼ休止中。今後オンラインを考えていかなければならない中、貴重な試みだったと思う。

＜就労支援・両立支援について＞



- ・相談件数は伸びていない。
- ・がんセンター：月3～4件。新規の患者さんにはリーフレットを必ずお渡ししている。入院患者さんには相談員が関わる中で必要に応じて利用について声掛けしている。1件は化療中で職場の配置転換を希望されていた方。産保センターにつなぎ、職場にどのように伝えたらいいかなどアドバイスを頂き、配置転換がスムーズにいったケース。  
その他の取り組みで「橋わたしーと」というよろず相談の案内リーフレットを新患全員に渡している。こちらから能動的に渡すのも有効な取り組みと思われる。
- ・県立中央病院は、ハローワークの相談件数12件中、8件で成功率が高い。
- ・市民病院：昨年度1件、今年度1件。職場復帰に向け、どのように病名や症状を伝えていけばいいかについて、産保センターに相談し、専門的なアドバイスを受けたケースあり。
- ・新潟大学病院：2件。どのように会社と交渉していけばいいかという相談。
- ・医療機関とハローワーク及び産保センターの三者協力について質問があったが、そのような実績はない様子。

### 【協議(3)PDCA サイクル実施状況の評価について】 資料4

#### <資料4-1>

- ・病院別に、2019 - 2020年の自己評価の推移をみたもの。内容が抽象的で主観的な項目は回答する人によりとらえ方が変わる。

#### <資料4-2>

- ・項目別に、病院全体として評価1, 2, 3がどれくらいを占めるか示したもの。
- ・項目「11」は、拠点病院だけの項目で、該当するのはがんセンターのみ。
- ・がん診療拠点病院は、指定要件の中で、PDCAサイクルに準拠した活動を求められている。評価表から何を求められているかを知ることができる。常にアウトカム設定と目標達成のプランを立て活動していかなければならない。

### 【協議(4)セカンドオピニオン一覧表について】 資料5

- ・今回初めて取り組ませて頂いた。
- ・第3期がん対策推進基本計画の中間評価の中で、拠点病院のがん相談支援センター業務として必要な項目として、「セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介」が盛り込まれたことによる。
- ・今回、試みとして情報共有のために一覧表を作成。外部に公表する予定はなく、がん相談支援部門の中で、資料として共有し、業務の中で参考にさせていただきたい。

### 【協議(5)質問事項等について】 資料6

#### ①がんサロンの開催状況について

→協議(2)にて説明済み

#### ②感染症流行下でのがん相談の工夫について

- ・済生会新潟病院の取り組みを紹介。関係機関スタッフのいる面接室と、患者のいる病棟をオンラインでつなぎ、退院前カンファレンスを開催している。

#### ③PDCA チェックリスト12番「患者満足度調査の実施」について

- ・がんセンターの取り組みを、資料6-2により紹介。

④PDCA チェックリスト 16 番「相談対応モニタリング」について、

- ・がんセンターの取り組みを資料6-3により紹介。

**【3 「がんサポートハンドブック」の改訂について】**

- ・本年3月に改訂されたもの。
- ・新潟県福祉保健部地域医療政策課 羽入医師より紹介。
- ・主な変更点は、「がん治療による不妊への影響」という項目を追加した点、「がん相談支援センター」、「両立支援」についてもアップデートした。

※部会長より、福祉保健部に対し要望あり

- ・新潟県のがん診療拠点病院の活動(各部会の活動等)について、県のホームページへの掲載をお願いしたい。

**【4 第16回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の報告】**

- ・主な議題は「小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存」の促進事業。
- ・「がんと診断されて間もない人向け」情報コンテンツの改訂→『がん治療に臨むあなたに知ってほしいこと～がん相談支援センターに行こう(仮称)』

**【5 令和3年度地域相談支援フォーラムについて】 資料7**

- ・がんセンター患者サポートセンター 櫻井副センター長より、資料7をもとに説明。
- ・日程：令和3年11月20日(土) 12:30～17:00
- ・事務局は当センター。ZOOMによるオンライン開催。参加をお願いしたい。



2020年度 医療連携ノート利用（発行）状況(2020年4月～2021年3月)

胃がんステージⅠ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2019年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟	2	0	1	3	1	1	3	4	2	2	0	0	19	22
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	2	0	1	3	1	1	3	4	2	2	0	0	19	22

胃がんステージⅡ・Ⅲ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2019年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	4
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	4

胃がん ESD

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2019年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

大腸がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2019年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央				1									1	2
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0

計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

乳がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2019年度
がんセンター	30	23	29	30	26	24	29	31	17	18	14	18	289	308
新潟大学	10	11	11	18	13	7	13	9	12	12	8	8	132	79
新潟市民	16	14	14	11	16	15	14	13	17	13	13	20	176	210
県立新発田	0	0	4	5	7	7	7	6	8	6	8	6	64	2
長岡赤十字	9	8	9	14	10	11	16	11	15	12	9	15	139	96
長岡中央	5	7	6	2	5	4	5	6	4	2	6	5	57	0
県立中央	7	5	5	7	4	7	8	3	8	5	10	8	77	92
済生会新潟	3	2	2	3	1	1	2	1	3	0	4	1	23	36
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	80	70	80	90	82	76	94	80	84	68	72	81	957	823

肺がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2019年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

肝がん

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2019年度
がんセンター													0	0
新潟大学													0	0
新潟市民													0	0
県立新発田													0	0
長岡赤十字													0	0
長岡中央													0	0
県立中央													0	0
済生会新潟													0	0
魚沼基幹													0	0
立川総合													0	0
柏崎総合													0	0
上越総合													0	0
西新潟中央													0	0
佐渡総合病院													0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



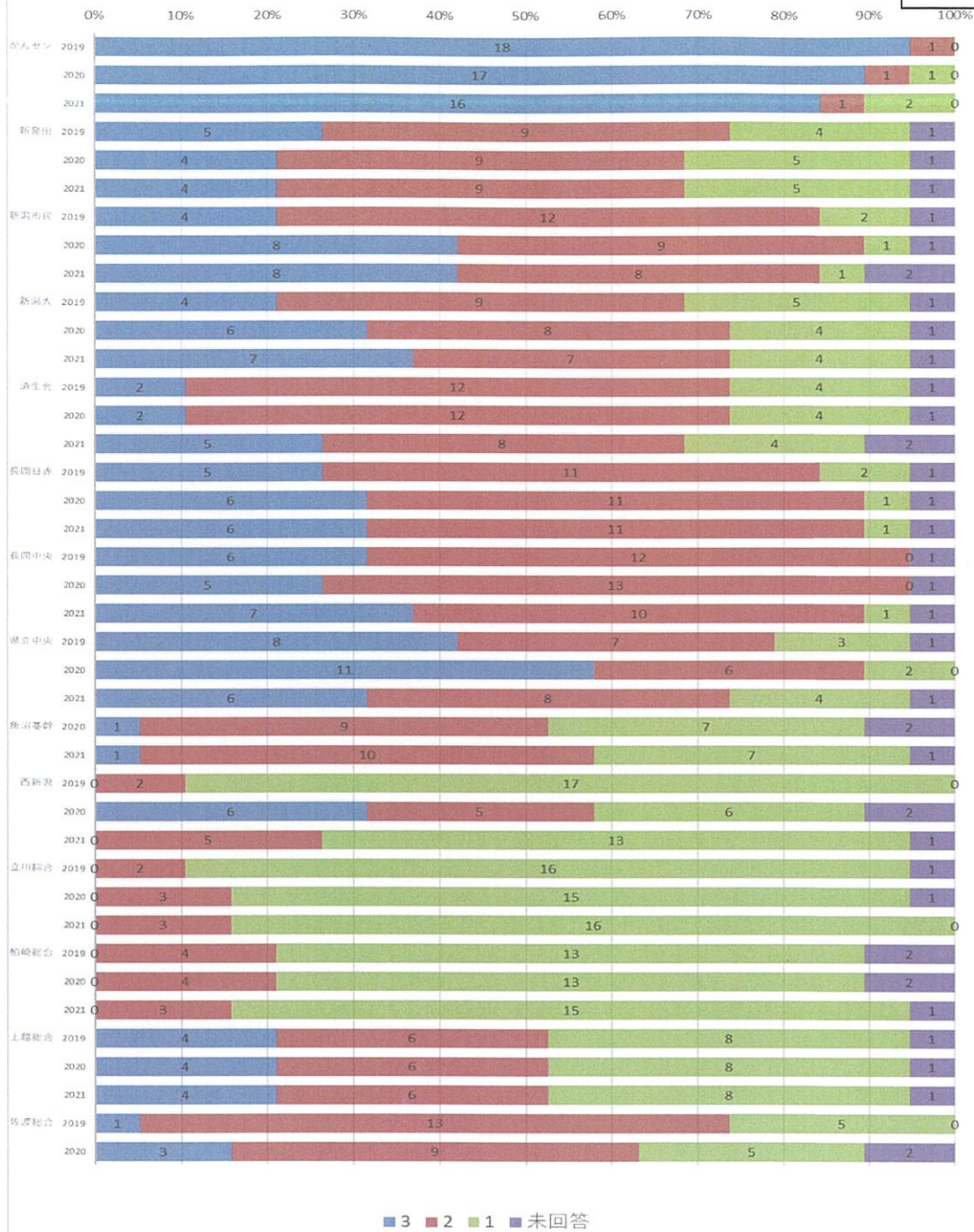
病院名 相談室の名称	担当			相談案件数 (2020.4.1~2021.3.31)	がん相談員研修受講終了の状況							相談支援のスキル向上を目的とした取り組みの状況	啓発・普及の取り組み状況 (講演会の開催等)	今後検討・計画していること	
	専従:がん相談6割以上 専任:がん相談5割以上	職種	業務業務		氏名	職種	基礎(1)	基礎(2)	基礎(3)	研修等	認定がん相談員				
県立がんセンター 新潟病院 地域連携・ 相談支援センター	専従(6割以上) 中島志保 専任(5割以上) 大澤知佳 菅野まり子	公認心理士 看護師 MSW	入道院支援 入道院支援	9111	櫻井圭英	看護師	○	○					・1回/週の事例カンファレンス、1回/月相談モニタリング開催、1回/年相談員研修 ・相談支援に関する研修への参加(小児がん専門相談員、相談対応の質保証、自立支援コーディネーター、医療メディエーター)	財政支援と再立支援取り組みパンフレットとポスターの修正と配布。 研修会のオンライン開催への変更	令和3年度相談員研修で「相談対応員の保証」をテーマに実施予定
				846	神保圭子	社会福祉士	○	○	○	○					
				0	中島志保	公認心理士	○	○	○	○					
					上山裕美	社会福祉士	○	○	○	○					
					菅野まり子	社会福祉士	○	○	○	○					
					廣藤陽子	社会福祉士	○	○	○	○					
					渡辺野千穂子	看護師	○	○	○	○					
県立新発田病院 がん相談支援センター	専従(6割以上) 高橋里美 専任(5割以上) 高橋里美	看護師 MSW	入道院支援	852	高橋里美	社会福祉士	○	○	○	○		・MSW内における指導体制として、ソーシャルワーカー人材育成システムを構築; 経験年数等に同じ、指導体制のグループを構成、各自年長ことヒススキルアップのための目標を設定し、進捗状況の評価をグループ内の指導者とともに年2回行っている。 ・院外で開催されているソーシャルワーク支援技術向上のための勉強会・研修会(グループスーパーバイション等)への参加	院内のポスター掲示、リーフレット設置 ・院内スタッフ向け広報誌、一般市民向け広報誌での広報 ・緩和ケア研修会での広報		
				1027	高橋純	看護師	○	○	○	○					
				0	石山祐貴	社会福祉士	○	○	○	○					
					山田文子	看護師	○	○	○	○					
新潟市民病院 がん相談支援センター 専任各相談室 スワンプラ内	専従(6割以上) 小林朝英 専任(5割以上) 藤澤潮望 その他 押見裕孝	MSW MSW MSW	入道院支援職員業務 患者相談業務	513	藤澤潮望	MSW	○	○	○	○		・がん相談支援センターパンフレットの刷新 ・院内スタッフ向けがん相談支援センター通信の発行 ・6/7に開催のがんサロンでがん相談支援センターの紹介を実施			
				257	伊藤京穂子	MSW	○	○	○	○					
				0	押見裕孝	MSW	○	○	○	○					
					小林朝英	MSW	○	○	○	○					
					石田空	MSW	○	○	○	○					
					藤澤潮望	MSW	○	○	○	○					
					木村望	MSW	○	○	○	○					
新潟大学医学部 総合病院 がん相談支援センター	専従(6割以上) 石原慎一 専任(5割以上) 山原温美	MSW 看護師	遠隔診療業務	1078	山原温美	看護師	○	○	○	○		・各種研修会の参加			
				1715	石原慎一	MSW	○	○	○	○					
				0											
済生会新潟第二病院 がん相談支援室	専従(6割以上) 沢川麗子 専任(5割以上) 白鳥多恵子	MSW MSW	入道院支援	735	沢川麗子	MSW	○	○	○	○		・COVID-19の流行状況に合わせ、令和2年度は講演会等を中止した。 ・AYA世代向けの情報をホームページに追加する。	・オンラインでの講演を検討中。		
				101	白鳥多恵子	MSW	○	○	○	○					
				10											
長崎赤十字病院 がん相談支援センター	専従(6割以上) 大野弘美・橋本幸子 専任(5割以上) 田村栄治 その他 白井清美	看護師 看護師 看護師	患者相談窓口 緩和ケアチーム	407	田村栄治	看護師	○	○	○	○		・相談事例について、がん相談支援センター内でカンファレンスを行い対応方法を検討している。			
				210	白井清美	看護師	○	○	○	○					
				0	大野弘美	看護師	○	○	○	○					
					橋本幸子	看護師	○	○	○	○					
長岡中央総合病院 がん相談支援センター	専従(6割以上) 藤原孝美 村田由美 専任(5割以上) 荒川和也 その他 三浦一二美	MSW MSW MSW	医療福祉相談 外来治療管理	295	藤原孝美	看護師	○	○	○	○		・相談員間の相談事例の共有と検討 ・研修会・講演会等への参加による自己研鑽	・広報誌掲載、感染対策でパンフレット等の置き(配置して自由に取る方式は中止)、参加制限で講演会開催せず。	・啓発・普及方法の検討 ・講演会等のオンライン活用	
				340	三浦一二美	看護師	○	○	○	○					
				0	荒川和也	MSW	○	○	○	○					
					村田由美	MSW	○	○	○	○					
					西片明日佳	MSW	○	○	○	○					
県立中央病院 患者サポートセンター がん相談支援センター	専従(6割以上) 穴澤こすえ 専任(5割以上) 豊川美香	副看護師長 臨床心理士 MSW	遠隔支援/緩和相談	674	穴澤こすえ	副看護師長	○	○	○	○		・がん相談支援センターの相談員研修で受講可能な研修には積極的に取り組んでいる。	・がん相談支援センターが昨年度開設され、院内提示、入院支援コーナーで対象者へのパンフレット配布などを行っている。	・今年度は地域の医療機関へパンフレットを寄贈し普及啓発に取り組み予定である。院内職員への啓発普及を目的として、がん相談支援センターについての研修会を開催予定。	
				249	豊川美香	MSW	○	○	○	○					
				0											
魚沼基幹病院 がん相談支援センター	専従(6割以上) 池田幸恵 専任(5割以上) 佐藤芳伸 その他 大塚佳子	看護師 MSW 看護師	遠隔支援/外来相談 管理業務	452	池田幸恵	看護師	○	○	○	○		・がん相談支援センターの相談員研修で受講可能な研修には積極的に取り組んでいる。	・がん相談支援センターが昨年度開設され、院内提示、入院支援コーナーで対象者へのパンフレット配布などを行っている。	・今年度は地域の医療機関へパンフレットを寄贈し普及啓発に取り組み予定である。院内職員への啓発普及を目的として、がん相談支援センターについての研修会を開催予定。	
				144	佐藤芳伸	MSW	○	○	○	○					
				0											
西新潟中央病院 医療相談室	専従(6割以上) 吉田大輔 専任(5割以上) 野島由紀子	医療福祉専門 医療福祉専門	医療福祉相談	64	吉田大輔	医療社会事業専門員	○	○	○	○		・事例検討	・相談窓口の認知強化		
				0											
				0											
立川総合病院 医療相談室	専従(6割以上) 高橋郁代 専任(5割以上) 關山智美	MSW MSW	がん相談支援センターの設置はなく、外来・医療相談室で対応しています。	51	高橋郁代	看護師	○	○	○	○		・勉強会や研修会への参加など、自己研鑽を継続している。			
				3	關山智美	看護師	○	○	○	○					
柏崎総合医療センター がん相談支援センター	専従(6割以上) 橋本江江 専任(5割以上) 大島利江子	看護師 社会福祉士	再発診療業務 遠隔支援業務	123	橋本江江	看護師	○	○	○	○					
				62											
上越総合病院 がん相談センター	専従(6割以上) 菅井美穂 専任(5割以上) 菅井美穂	MSW	病棟遠隔支援部門	176											
				4											
				2											
佐渡総合病院 がん相談支援センター	専従(6割以上) 本間裕久 専任(5割以上) 濱田理 その他	MSW 医師 事務員	地域連携業務	66	本間裕久	MSW	○	○	○	○		・個別学習に取り組んでいます。 ・慶典であることや昨今のコロナ問題による出張の自粛、慣性的な病院のスタッフ不足もあり、全国的な研修会への参加は出来ておりません。	・令和3年2月に院内学習会(緩和ケア勉強会)にて、「がん相談支援センターの活用」の勉強会を開催しました(DVD研修) ・令和3年6月に学習会アンケートをもち、「がん相談支援センター」の案内資料を作成し、配布する予定です。	○今年度は以下を準備しています。 ・緩和ケアチームでの勉強会の企画 ・複数回の夏3日間の13時～15時に「ひまわりサロン」の開催(毎月→隔月に変更) ・ホームページ掲載内容の更新 ・患者・家族用/院内スタッフ用のPRチラシの作成	
				34	濱田理	事務員	○	○	○	○					
				18	中川優子	看護師	○	○	○	○					
					稲葉真子	MSW	○	○	○	○					



病院名	1. ハローワークとの連携について				2. 産業保健総合支援センターとの連携による仕事と治療の両立支援について			
	①実施状況		②相談実績		③今後の計画	④就労支援の取り組みについての課題		
	ハローワークの定額出張相談	実施状況	相談件数	就労に繋がった件数			①実施状況	②両立支援促進員介入件数
県立がんセンター新潟病院	あり	出張相談は、毎週木曜日10時～15時実施。コロナ感染防止のため、相談は予約制となっており、ナビゲーターは相談が終了すると帰られる。	R2 32件 R3 4件	1件 0件	<p>HP内外部に外来患者に患者リワードセンターの案内と一緒にハローワークや産業保健総合支援センターのリフレットを配布し、就労支援について周知を図っている。</p> <p>入院患者については、退院支援のスクリーニングにより、就労支援のニーズについて把握し、希望に応じて出張相談の利用を紹介している。</p> <p>今年度は、院外向けホームページや掲示用ポスターの内容変更、院内で発行している患者向け情報誌（からだのとしょかん通信）の掲載など、患者への情報提供を進めている。</p>	出張相談は、患者の希望に応じて産業保健総合支援センターと日程調整し随時実施している。外来・入院患者への情報提供は、ハローワークの出張相談と同様の形で行っている。また、事業所に提出する主治医意見書の作成手配などの調整については、個別に対応している。	R2 3件 R3 0件	
県立新発田病院	なし		R2 0件 R3 0件	0件 0件	令和3年4月にハローワーク新発田と締結、7月よりハローワーク出張相談開始予定	仕事と治療の両立支援のリフレットや周知カードの設置	R2 0件 R3 0件	
新潟市民病院	あり	毎月2回（第2水曜日・第4火曜日）の13時～16時）出張相談を実施。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、これまで上記日時・時間帯に就職支援ナビゲーターに来院・在室していただいていたところを、出張相談予約が入っているときのみ来院とし、時間も相談予約のあった時間帯のみ在室いただくこととした。	R2 7件 R3 1件	1件 0件	外来にある電子掲示板を活用しての周知・広報について検討中。	出張相談について、患者さんや院内スタッフに広く周知するための効果的な取り組み、周知方法など、効果を上げている取り組みがあれば共有できればと思います。	患者さんからの希望に応じ、随時日程調整の上、出張相談を実施している。	R2 1件 R3 0件
新潟大学医学部総合病院	あり	特定の出張日は設けず、希望時に出張相談の調整を行っている。	R2 1件 R3 0件	0件 0件	ハローワーク新潟からの提案を受け、オンライン面談の実施について院内で検討中である。	特定の出張日は設けず、希望時に出張相談の調整を行っている。	R2 2件 R3 0件	
済生会新潟第二病院	あり	ハローワークと協定を結んでいるが、希望者おらず実績はない。	R2 0件 R3 0件	0件 0件		協定は結んでいるが、医師への調整等かわったケースはなし。	R2 0件 R3 0件	
長岡赤十字病院	あり	2回/月 第1水、第3金 各日1時間ずつ2枠 予約制 予約がない日は、ハローワークとの情報交換を実施（30分）	R2 4件 R3 2件	0件 0件	診断後、早期介入できるような院内連携体制を整える（具体案：相談窓口の周知）	患者さんおよび職員に就労支援の取り組みを周知する方法	（相談に来られた方に）仕事について何い困りごとがある方に両立支援の資料を渡している。会社への伝え方について、具体的な意見を提案すると自己解決される場合が多い。	R2 0件 R3 0件
長岡中央総合病院	あり	2回/月 第2金曜日、第4火曜日 13時30分～15時00分 対象者なし時もHWには30分待機していた。主に情報交換を行っている。	R2 3件 R3 0件	0件 0件			両立についての相談者にはリフレットを提示している。対象者が上司にきちんと話すことで解決し、センター介入に至らない内容にとどまっている。	R2 0件 R3 0件
県立中央病院	あり	第2・4木曜日 14時～16時 1名50分×2名予約制 初回面談時は患者、HWナビゲーター、支援センター職員の3者面談とする。	R2 12件 R3 2件	8件 1件	当院のHPにハローワークの出張相談と新潟産業保健総合支援センターの紹介リンク掲載中が「サロ」（オンライン開催予定）で院内外の患者に案内と、外来に協力依頼し就労両立支援の周知を図りたい。			R2 1件 R3 1件
魚沼基幹病院	なし	昨年度よりがん相談支援センターが開設され、ハローワークとの連携を必要とするケースがなかった。	R2 0件 R3 0件	0件 0件	本年度中に地域のハローワークと連絡を取り、連携体制について検討していく予定としている。		産業保健総合支援センター担当との随時連絡は取っているが、支援をお願いする対象となる相談ケースがなかった。本年度、当該センターよりがん患者サロンでミニ講演をお願いしていたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のためがん患者サロンが中止となり、次年度に開催を検討しているところである。	R2 0件 R3 0件
西新潟中央病院	なし		R2 0件 R3 0件	0件 0件				R2 0件 R3 0件
立川総合病院	なし	現在、相談実績はないが、必要時には連携していきたい。	R2 0件 R3 0件	0件 0件	引き続きポスターやリフレットにて周知を行い、必要時相談を行う。	外来や化学療法室で就労について相談されることがあり、その都度リフレットやポスターにて両立支援の周知を行っているが、相談実績には繋がらない現状である。	相談実績はないが、必要時には患者・家族に情報提供できるようにしていく。	R2 0件 R3 0件
柏崎総合医療センター	なし		R2 0件 R3 0件	0件 0件			2019年12月1日より、産業保健総合支援センターと協定を結びました。昨年度介入ケースはありませんでした。	R2 0件 R3 0件
上越総合病院	あり	R2.8.19より開始し、月1回のペースで実施。	R2 0件 R3 0件	0件 0件	院内関係職員へ事業の周知を実施 各外来に事業周知のポスター掲示		事業のパンフレット送付あり、各外来等に設置している。	R2 0件 R3 0件
佐渡総合病院	なし		R2 0件 R3 0件	0件 0件	本年5月にハローワークより、退院者の就労支援のニーズおよび定期出張相談の協力についての案内がありました。がん相談支援センターにて連携協可能との返答をしております。ハローワークからの次の動きに合わせて、当院でも出張相談などに取り組みたいと考えています。	医療機関とハローワークおよび新潟県産保センターとの連携について、3者協力の実績はありますか？ビデオ通話やビジネスチャットを用いた連携を検討している地域はありますか？	令和2年度は実績なし、問い合わせ1件でした。	R2 0件 R3 0件

# 自己評価の推移 病院別

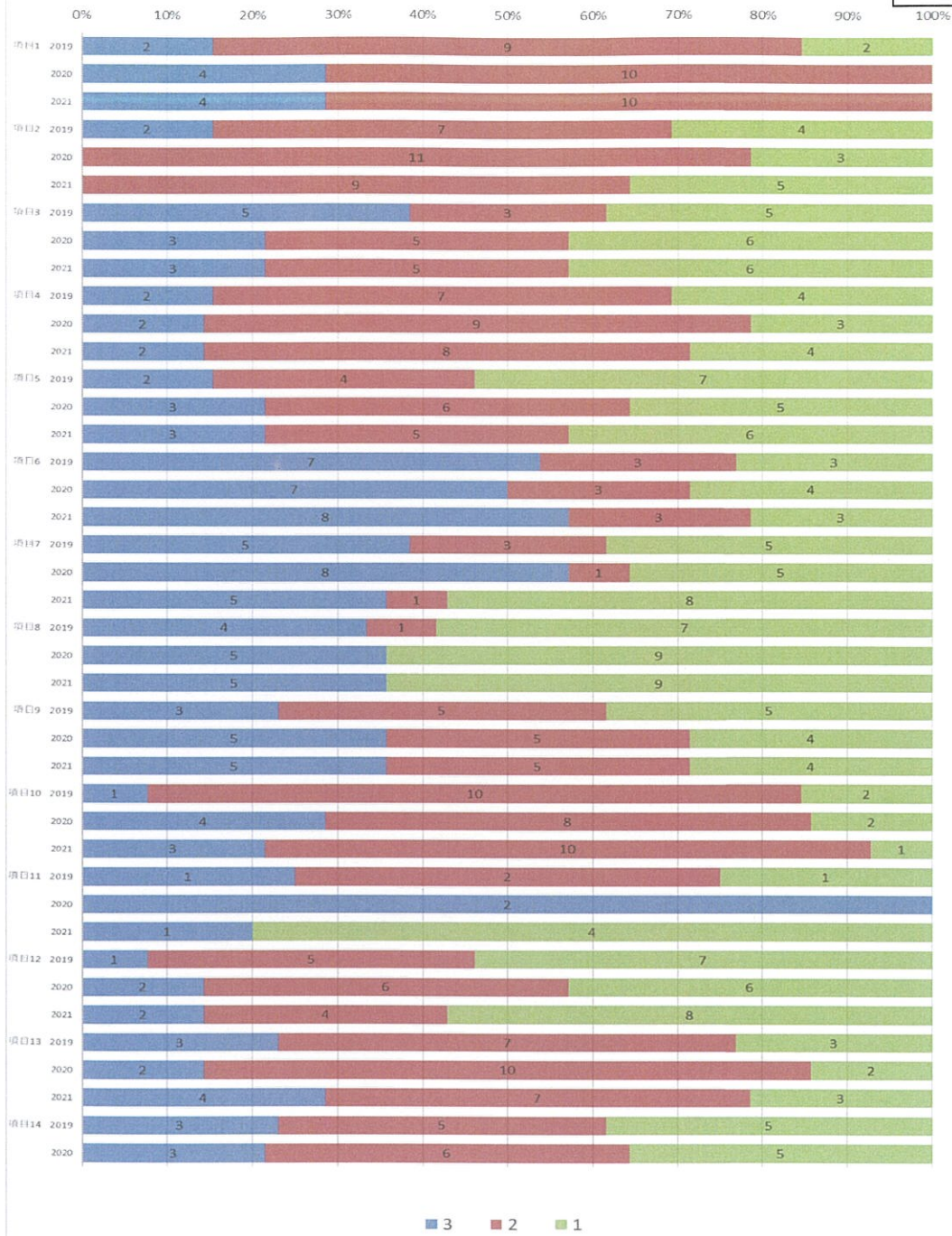
資料4-1





### 自己評価の推移 項目別

資料4-2





		プロセス				
必要な条件・状態	番号	実施状況	3段階評価	評価	次年度の目標	目標に向けての具体的なプラン
その人にとってアクセスしやすい相談場所・相談の入口がある 多様な相談先がある 複数の相談場所がある	1	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、院内掲示や配布物(チラシ・診療案内・入院案内・院内広報誌等)、病院ウェブサイト等で、がん相談支援センターの窓口をわかりやすく提示し、それを定期的に見直している	3: 定期的(少なくとも1年おき)に見直しの機会を設けている 2: 表示をしているが、定期的な見直しの機会を設けていない 1: 表示できていない	(例) 2	(例) 3	
	2	ピアサポートの場をつづけている、またはピアサポートの提供が可能な場(患者会・患者サロン・ピアサポーター等)についての情報を提供することができる	3: ピアサポートの提供が可能な場について情報収集し、希少がんや若年世代のがん等も含めて幅広く情報提供することができる 2: ピアサポートの提供が可能な場について情報収集し、主要ながんについては情報提供することができる 1: ピアサポートの提供が可能な場について情報収集していない			
情報や助けを求めている人に気づく人が増える 適切な相談窓口につながる人が増える 院内・外へセンターの周知が行われる ・医療従事者(院内・外)が相談支援センターの役割を知っている ・紹介元から紹介先へうまくつながれる(うまく連携がとれている)	再掲(1)	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、院内掲示や配布物(チラシ・診療案内・入院案内・院内広報誌等)、病院ウェブサイト等で、がん相談支援センターの窓口をわかりやすく提示し、それを定期的に見直している				
	3	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、がん相談支援センターの役割(質の高いがん相談支援に求められる基本姿勢「Core Values」を含む)や業務を、院内スタッフに対して周知する機会(例: 新人オリエンテーション・医局会等)を定期的に設けている	3: 定期的(少なくとも1年おき)に実施している 2: 必要に応じて随時実施している(定期的な機会は設けていない) 1: 実施していない			
・紹介元から紹介先へうまくつながれる(うまく連携がとれている)	4	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、がんの患者・家族等に対して、診断初期の段階から主治医等よりがん相談支援センターの案内がなされるよう院内の体制を整備している(例: リーフレットや案内カードを渡しセンターを案内するよう、各診療科長を通じて全てのがん診療を担当する医師に依頼する等)	3: 体制整備に取り組んだ結果、問題なく運用できている 2: 体制整備に取り組んでいるものの、運用上の課題が残っている例: 一部の診療科にしか浸透していない等 1: 体制整備に取り組んでいない			
	再掲(2)	ピアサポートの場をつづけている、またはピアサポートの提供が可能な場(患者会・患者サロン・ピアサポーター等)についての情報を提供することができる				
・患者サロンの運営や協力をすすめる相談対応の質が担保されている ・(相談員)相談者のがんや状況の理解を助けることができる ・(相談員)相談者に適切な情報や支援を通じてエンパワメントすることができる	5	基本計画や整備指針等ががん相談支援センターに新たに求められている事項や業務(例: ゲノム医療・希少がん・AYA・生殖機能等)に関連する研修(エラーニング・集合研修)に参加している	3: 専従・専任以外も含め複数の相談員が参加している 2: 専従・専任の相談員のみが参加している 1: 参加していない			
	6	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、相談員に対し継続的な学習の機会を確保し、参加を促している(例: 研修参加や認定がん専門相談員の認定取得を促す、必要経費の支出、不在時職務代替者の調整等)	3: 専従・専任以外も含め複数の相談員に対し、基礎研修修了以降も、継続的な学習の機会を確保している 2: 専従・専任の相談員のみ、基礎研修修了以降も、継続的な学習の機会を確保している 1: 専従・専任の相談員のみ、基礎研修修了までは学習の機会を確保している(それ以降の研修受講・自己研鑽は業務外・自費扱い)			
相談対応の質が担保されている ・困りごとの本質を見極め、困りごとに対する術や情報を提供できる	7	病院管理者やがん相談支援センターの管理者は、がん相談支援センター内に相談員指導者研修を修了した者を配置している	3: 複数名配置している 2: 1名配置している 1: 配置していない			
	8	がん相談支援センター内での情報共有や相談傾向の把握・課題抽出、施設長との比較ができるよう、相談記入シート(情報提供・相談支援部会で採用された相談記録のための基本形式)を用いて相談記録を作成している	3: 現在相談記入シートに準拠している 2: 現在相談記入シートに準拠していないが、今後準拠する予定である 1: 現在相談記入シートを準拠しておらず、今後準拠する予定もない			
相談員間、相談支援センター間で、起きている課題の共有や解決法の情報共有ができる	9	相談者からの相談内容や対応を分析し、改善しうる課題について検討している	3: 分析し傾向把握し、改善しうる課題の検討を行っている 2: 分析し傾向把握はしているものの、改善しうる課題の検討はできていない 1: 医療者からの相談内容や対応については分析していない			
	10	がん相談支援センター内で検討された課題や解決策を、必要に応じて病院管理者等に報告し、がん相談支援センターや病院全体としての質向上につなげている	3: 病院管理者等への報告を行い、その内容をふまえた実臨床への還元サイクルを回すことができる 2: 病院管理者等への報告は行っているものの、実臨床への還元サイクルを回せていない 1: 病院管理者等への報告は行っていない			
相談対応の質が担保されている ・科学的根拠に基づく信頼できる情報が提供できる ・理解を促進する説明ができる ・医師や看護師等へ理解を促進するような精進ができる	11	【都道府県拠点または部会担当施設】 部会で検討して解決が困難な課題を、上部の協議会に挙げ、解決をはかる仕組みがある	3: 協議会に挙げ解決をはかる仕組みがあり、機能している 2: 現在、協議会に挙げ解決をはかる仕組みがないため、体制整備に取り組んでいる 1: 現在、協議会に挙げ解決をはかる仕組みはなく、体制整備にも取り組んでいない			
	12	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、がん相談支援センターで提供された支援に対する利用者からのフィードバックを得るための体制を整備している(例: センター利用者への満足度調査の実施、病院として実施する患者満足度調査に部門評価を含める等)	3: 体制整備に取り組み、収集・評価・実臨床への還元サイクルを回すことができる 2: 体制整備に取り組みつつあるものの、運用上の課題が残っている例: 収集はしているが、その内容を評価し実臨床に還元することができない等 1: 体制整備に取り組んでいない			
相談対応の質が担保されている ・科学的根拠に基づく信頼できる情報が提供できる ・理解を促進する説明ができる ・医師や看護師等へ理解を促進するような精進ができる	再掲(5)	基本計画や整備指針等ががん相談支援センターに新たに求められている事項や業務(例: ゲノム医療・希少がん・AYA・生殖機能等)に関連する研修(エラーニング・集合研修)に参加している				
	再掲(6)	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、相談員に対し継続的な学習の機会を確保し、参加を促している				
医療連携が円滑に行われている 公平・中立な相談の場が確保されるだけでなく相談できることを明示し、保障している 匿名で相談対応できることを明示し、保障している 個人の情報は保護され、適切に扱われる体制がある	13	がん相談支援センター内で情報提供・相談支援に活用する情報についての検討を定期的に行い、科学的根拠に基づく情報・信頼できる情報の整備・更新に努めている	3: 定期的(少なくとも1年おき)に行っている 2: 必要に応じて随時行っている(定期的な機会は設けていない) 1: 活用する情報についての検討・評価を行っていない			
	14	がん相談部門のマニュアルや相談対応のQ&Aをセンター内で作成し、定期的に更新している	3: 作成し、定期的(少なくとも1年おき)に確認・更新している 2: 作成したが更新していない 1: 作成していない			
相談対応した際の記録(音声データ等)とがん相談対応評価表等を用いて、定期的に相談対応のモニタリングを行っている	15	病院管理者は、がん相談支援センターの相談員をバックアップするための多職種連携・協働体制を整備している(例: 相談員が相談対応で困ったときに助言を求められる担当者を決めるよう各診療科・部門に指示する等)	3: 体制整備に取り組んだ結果、問題なく運用できている 2: 体制整備に取り組んでいるものの、運用上の課題が残っている例: 一部の診療科にしか浸透していない等 1: 体制整備に取り組んでいない			
	16	相談対応した際の記録(音声データ等)とがん相談対応評価表等を用いて、定期的に相談対応のモニタリングを行っている	3: 複数の相談員が参加する形の部門内モニタリングを、定期的(相談員あたり少なくとも1回)に行っている 2: 自身の相談対応を各自で振り返る形のセルフモニタリングを用いている 1: 事例検討は行っているが、評価表を用いてのモニタリングは行っていない			
患者・家族が適切に相談窓口に行き着ける。またそのための流れや体制がある(院内・院外・地域から)	再掲(3)	病院管理者およびがん相談支援センター管理者は、がん相談支援センターの役割(質の高いがん相談支援に求められる基本姿勢「Core Values」を含む)や業務を、院内スタッフに対して周知する機会(例: 新人オリエンテーション・医局会等)を定期的に設けている				
	再掲(4)	病院管理者およびがん相談支援センターの管理者は、がんの患者・家族等に対して、診断初期の段階から主治医等よりがん相談支援センターの案内がなされるよう院内の体制を整備している(例: リーフレットや案内カードを渡しセンターを案内するよう、各診療科長を通じて全てのがん診療を担当する医師に依頼する等)				
広報活動が行われている	再掲(9)	相談者からの相談内容や対応を分析し、改善しうる課題について検討している				
	再掲(10)	がん相談支援センター内で検討された課題や解決策を、必要に応じて病院管理者等に報告し、がん相談支援センターや病院全体としての質向上につなげている				
	18	情報提供・相談支援に活用するがんに関する図書、小冊子やリーフレットは、センター内で内容を精査し、正確な情報が掲載されているものを設置・配布している	3: 明文化された判断基準の下、内容の精査を行っている 2: 内容の精査は行っているが、明文化された判断基準がない 1: 内容の精査を行っていない			



がん対策や治療に関わる新しい情報の発信ができる	再掲 (5)	基本計画や整備指針等でがん相談支援センターに新たに求められている事項や業務(例:ゲノム医療・希少がん・AYA・生殖機能等)に関連する研修(Eラーニング・集合研修)に参加している			
	19	都道府県内のがん診療連携協議会や相談支援部会(部会下に設置されるワーキンググループ等含む)に参加し、病院間での情報共有や役割分担を含む協力体制の構築を行っている	3:定期的に参加しており、情報共有や協力体制構築において、主体的に役割を果たしている 2:参加はしているが、主体的に関わることができていない 1:参加していない		
地域に相談支援センターの周知が定期的に行われている	再掲 (19)	都道府県内のがん診療連携協議会や相談支援部会(部会下に設置されるワーキンググループ等含む)に参加し、病院間での情報共有や役割分担を含む協力体制の構築を行っている			

2021年度 北関東甲信越ブロック  
地域相談支援フォーラム in 新潟

# AYA世代がん患者への支援を考える

～未来を担う世代の今と未来を支えるはじめての一步～

Web開催  
ZOOMによるオンラインフォーラム

参加費無料  
定員 **100**名  
(事前予約制)

[日 時] ▶▶▶ 11月20日(土)13:00～17:00

受付開始12:30

[対 象] ▶▶▶ 北関東甲信越地区のがん診療連携拠点病院、  
県認定がん診療拠点等のがん相談に関わる医療従事者

[申 込] ▶▶▶ 下記URLかQRコードよりお申込みください  
同施設から複数名で参加の場合は各自で  
お申し込みください



<https://forms.gle/B6zx383GrCDUUaqx8>

申込受付期間 2021年9月6日(月)～10月1日(金)12時

●茨城県・群馬県・栃木県・長野県・山梨県・新潟県 各県シンポジスト発表

●基調講演

「相談員としてAYA世代がん患者に必要な支援とネットワークの活用」

聖路加国際病院 AYA世代サバイバーシップセンター 認定がん専門相談員 橋本久美子先生

●フォーラムディスカッション～AYA世代がん患者の相談を受ける体制の課題と取り組み～

本フォーラムは国立がん研究センター「認定がん専門相談員」認定事業におけるⅢ群に該当します

主催:新潟県がん診療連携協議会 情報連携部会

後援:新潟県看護協会、新潟県医療ソーシャルワーカー協会  
がん拠点病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会  
(茨城県・群馬県・栃木県・長野県・山梨県・新潟県)  
国立研究開発法人 国立がん研究センター対策情報センター(申請中)

お問合せ先  
事務局  
新潟県立がんセンター新潟病院  
Mail▶niigataforum2021@gmail.com